

1 自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2071300236		
法人名	有限会社 ゆりかご		
事業所名	グループホームゆりかご		
所在地	長野県飯山市大字静間2900-2		
自己評価作成日	平成24年12月12日	評価結果市町村受理日	平成25年4月2日

事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JikyosyoCd=2071300236-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人環境・福祉事業評価センター		
所在地	長野県長野市南高田2-5-16		
訪問調査日	平成25年1月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

デイサービス、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、介護タクシーを併設した複合型施設のため、それぞれが連携し、地域に必要とされるサービス・地域に密着したサービスの提供を目指している。 利用者、家族はもちろん、地域の方々にとっての「拠り所」となれるように、地域のニーズの把握とそれに応えることができるように努めるとともに、地域の一員として生活できることを目指しています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

地域との関係ができていて、お互いが「事業所は地域の一員である」という双方向の関係が築けてきている。「暮らし」とは事業所の中だけで完結するものではないという理念の実践に近づいてきている。これは利用者が当たり前の暮らしをするために必要な基盤作りを事業所が積極的に取り組んでいる姿です。事業所内は、利用者が、一人一人にあった楽しい食事が楽しめるなど家庭的な雰囲気、自分のペースでゆったりと過ごしています。地域や家族との交流や協力も頂きながら、利用者が穏やかな想いで安全で安心して暮らせるように、管理者を中心に職員が明るく穏やかな表情で一丸となっています。今後は、誰がリーダーとなっても、実践していることがブレることのないように、事業所の中長期の姿を明確にして大切にしている理念の継続を目指していただきたい。
--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(グループホームゆりかご)				
項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		項目
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○	ほぼ全ての利用者の	63
		○	利用者の2/3くらい	
		○	利用者の1/3くらい	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○	ほとんど掴んでいない	64
		○	毎日ある	
		○	数日に1回程度ある	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	たまにある	65
		○	ほとんどない	
		○	ほぼ全ての利用者が	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○	利用者の2/3くらいが	66
		○	利用者の1/3くらいが	
		○	ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	ほぼ全ての利用者が	67
		○	利用者の2/3くらいが	
		○	利用者の1/3くらいが	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○	ほとんどいない	68
		○	ほぼ全ての利用者が	
		○	利用者の2/3くらいが	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	利用者の1/3くらいが	
		○	ほとんどいない	
		○	ほぼ全ての利用者が	